

行ってみました、学びサイト②



52 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子医学研究所、放射線医学研究所(千葉地区)
千葉県千葉市稲毛区

最先端の放射線がん治療装置を見学! 医療現場で役立つ放射線技術に触れる。

当機構の本部がある千葉市には、量子生命科学研究所・量子医学研究所・放射線医学研究所の3研究所があります。その中で今回日本原子力産業協会は、「放射線医学研究所」で、中学校・高校の理科、技術・家庭科教員を対象とした「教員向け重粒子線がん治療装置見学会—放射線を『知って、見て、体験』」を開催しました。見学会に参加した先生の声も交えてレポートします。(2024年3月27日訪問)

放射線を身近に感じる教材を体験

今回の見学会は先生方の放射線教育への支援を目的としており、学習指導要領の変遷と教科書の現状をふまえながら、担当をされる生徒達に放射線の理解に必要な知識や放射線に関心を持ってもらう方法などを提案しています。見学会の冒頭には「放射線の基礎知識」の講義が行われ、放射線の基本的な性質や利用法について学ぶとともに、授業で使えるポイントの解説がありました。また「学校でできる実習体験」では、霧箱を使って放射線を目で見たり、放射線検出器を実際に使ったりすることができ、子どもたちにも放射線を身近に感じていただけるヒントがたくさんありました。

重粒子線がん治療装置で放射線の医学利用を学ぶ

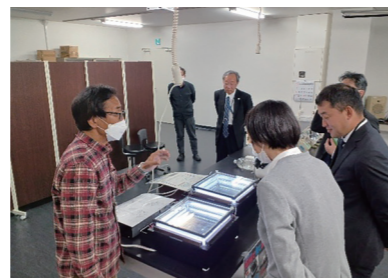
続いての「重粒子線治療施設見学」では、イオン源室やビームライン等を目の当たりにしながら、最先端の放射線がん治療について開発者から直接に話を聞くことができました。重粒子線治療ではがん細胞にピンポイントで炭素イオンを照射することができ、切らずに治療することが可能です。また、同機構では2015年度に重粒子線回転ガントリーを導入し、2017年5月からこの装置での治療を開始しています。これは自由な角度で重粒子線のスキャンニング照射ができる装置で、患者さんを動かさずに複雑な治療を行うことができます。放射線が健康を守ることに役立っていることが実感できました。今回の訪問時は模型での説明となりましたが、同機構の一般公開日などに旧治療室も入室・見学することができます。

貴重な経験を授業に生かしたい!

参加された先生からは「霧箱を初めて生で見て、放射線を種類の違いまで視覚的に理解できることが面白く、筋ができる様子が綺麗だったので、生徒への教材として非常に興味が高まった」「地下まで含んだ建物全体が1つの治療装置であること、それが小さな部屋へと集約してがんの治療へとつながっていくこと、1つ1つのスケールの大きさに圧倒された」「今回の実習のように視覚的に理解できるものや、身近な物を使って教材を作れる実験があれば、やってみたい」など、今回の貴重な経験を授業に活かしたいと意欲を見せていました。



さまざまな種類の放射線測定器の紹介



放射線を実際に目で見える霧箱実験



旧治療室で装置開発者が説明



加速器などの施設も見学

見学のお申し込みは



<https://www.qst.go.jp/site/qms/1832.html>
※担当：千葉管理部庶務課

各コラムの写真等は各施設にご提供頂いたものです。



原子力エネルギーや放射線、科学を楽しく学びに行きたい!

全国

52

サイト



北海道エリア(2サイト)		
01	北海道電力 原子力PRセンター「とまりん館」	3
02	日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター ゆめ地創館	3

北陸エリア(8サイト)		
32	北陸電力 アリス館志賀	13
33	原子力の科学館「あつとほうむ」	13
34	日本原子力発電 敦賀原子力館	14
35	日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげん	14
36	日本原子力研究開発機構 高速増殖炉原型炉もんじゅ	14
37	福井県美浜町 エネルギー環境教育体験館「きいばす」	15
38	関西電力 美浜原子力PRセンター	15
39	関西電力 エルガイアおい	15

中国エリア(3サイト)		
45	日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター	17
46	中国電力 島根原子力館	18
47	中国電力 エネルギー総合研究所	18

四国エリア(2サイト)		
48	四国電力 原子力保安研修所	18
49	四国電力 伊方ビジターズハウス	19

九州エリア(2サイト)		
50	九州電力 玄海エネルギーパーク	19
51	九州電力 川内原子力発電所展示館	19

中部エリア(4サイト)		
28	中部電力 浜岡原子力館	12
29	中部電力 でんきの科学館	12
30	核融合科学研究所	12
31	飛騨市 ひだ宇宙科学館 カミオカラボ	13

近畿エリア(5サイト)		
40	量子科学技術研究開発機構 関西量子科学研究所	16
41	大阪科学技術センター 大阪科学技術館	16
42	近畿大学 原子力研究所	16
43	京都大学 複合原子力科学研究所	17
44	理化学研究所 SPring-8・SACLA	17

東北エリア(14サイト)		
03	東通原子力発電所PR施設 トントウビレッジ	3
04	六ヶ所原燃PRセンター	4
05	量子科学技術研究開発機構 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所	4
06	青森県量子科学センター エネルギー館 あしたをおもう森	4
07	日本原燃サイクル情報センター	5
08	日本原子力研究開発機構 むつ科学技術館	5
09	日本原子力研究開発機構 むつ科学技術館	5
10	東北電力 女川原子力PRセンター	6
11	3GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu(ナノテラス)	6
12	日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター	6
13	日本原子力研究開発機構 櫛葉遠隔技術開発センター(NARREC)	7
14	特定廃棄物立情報館 「リプルンふくしま」	7
15	東京電力 廃炉資料館	7
16	福島県環境創造センター交流棟 「コミュタン福島」	8

関東・甲信越エリア(12サイト)		
17	東京電力ホールディングス 柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール	8
18	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所	8
19	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	9
20	日本原子力発電 東海原子力館 別館	9
21	茨城原子力協議会 原子力科学館	9
22	量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所	10
23	日本原子力研究開発機構 大洗研究所	10
24	高エネルギー加速器研究機構 科学技術館	10
25	日本科学技術振興財団 科学技術館	11
26	三菱みなとみらい技術館	11
27	日立オリジンパーク	11
52	量子科学技術研究開発機構 量子医学研究所、放射線医学研究所	20

※会社・組織名は略称です。

北海道エリア 東北エリア 関東甲信越エリア 中部エリア 北陸エリア 近畿エリア 中国エリア 四国エリア 九州エリア

行ってみたい、学びサイト①



46 中国電力株式会社 島根原子力館・島根原子力発電所

島根県松江市鹿島町

島根原子力発電所も眺望できる見学施設。
エネルギーを楽しく学ぶ工夫が盛りだくさん!

原子力産業協会は、中国電力・島根原子力発電所に隣接した島根原子力館を訪れ、実際に見学コースを歩いてみました。ここでは、その様子をご紹介します。(2021年7月5日訪問)

※施設概要、見学申し込みは本冊子18ページ46を参照。

多彩なコーナーが魅力の島根原子力館

原子力館では、まず島根原子力発電所の概要について説明を受け、安全対策などの取り組みをまとめた映像を視聴しました。

見学の第一歩は、1階の展示室にある「原子力発電コーナー」からスタート。ここでは、島根原子力発電所2号機の原子炉内の一部を実物大で再現した模型があり、ボタンを押すと制御棒が動き出し、核分裂の連鎖反応から蒸気の発生まで順に追うことができます。また、同発電所3号機の模型を使った映像で電気の源をたどる「エネルギーシアター」や、マップ映像で暮らしの中の放射線を発見する「放射線コーナー」でも、原子力について学ぶことができます。

原子力のほか、火力や水力、風力、太陽光による発電の仕組みを学ぶ「発電のしくみコーナー」、パネルやゲームで発電方法によるエネルギー源の違いやバランスのとれた電源構成の大切さを学ぶ「エネルギーコーナー」も必見。一方、子どもたちに大人気なのが、自転車や手回しの発電機で電気をつくる体験ができる「発電チャレンジコーナー」です。そして最後は、2階の「展望コーナー」へ。日本海の雄大な眺めとともに島根原子力発電所が眺望でき、くつろいだ時間を過ごすことができました。夕日が差し込む時間帯なら、また違った雰囲気が味わえそうです。

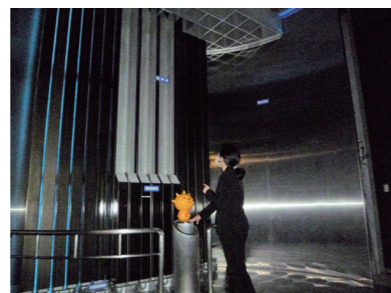
島根原子力発電所の構内を見学

続いて、島根原子力発電所の構内を案内していただきました。入構手続きを行った後、広い敷地内を車で移動。目前に迫る発電所のスケールの大きさに驚きました。ここでは、耐震性の高い受電設備や海拔15mもの高さがある防波壁、緊急時の対応拠点となる緊急時対策所などの安全対策設備を見学しながら、重大事故時の対応について説明を聞き、地震や津波への万全な備えを実感。万一事故が起こった場合でも、事故の進展を防ぐために何重にも安全対策が施されていることがよく分かります。

世代をつなぐ島根原子力館

エネルギーや原子力についての知識が自然と身につく島根原子力館。ここで遊んだ経験のある子どもたちがお父さんやお母さんになり、今度はご自身の子どもを連れてくることもあるようで、世代を超えて地元の人たちに親しまれている施設であると感じられました。実際にゲームなどでエネルギーの仕組みを学んだり、原子力発電所の設備を目の当たりにする経験は、子どもたちのエネルギーや原子力に関する興味・関心の芽を伸ばすきっかけになります。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

*島根原子力発電の見学にあたっては、団体のお客さまを対象に受け入れを行っています。見学をご希望の方は、事前に中国電力までお問い合わせください。



実物大模型のボタンを押して、原子炉の起動を体験



マップ映像で身近な放射線を発見



「エネルギーコーナー」でクイズに挑戦



高台から見た島根原子力発電所

問い合わせ先:
中国電力 地域共創本部
(コミュニケーション推進)
TEL.082-544-2850



01

北海道電力株式会社 原子力PRセンター「とまりん館」

〒045-0201
北海道古宇郡泊村大字堀株村古川45番地1
岩内バスターミナル、中央バス・神恵内・川白行き
「原子力PRセンター」下車・徒歩3分

見学内容



1991年開館。館内にある展示棟は、原子力設備を実物大模型で体感できる「原子力展示」、地域の風土・歴史を知る「地域展示」、科学に親しむ「科学展示」などで構成されています。原子力展示コーナーは、泊発電所3号機をモデルとした「リアルスケールの体験性」がコンセプト。実物大の原子炉や蒸気発生器の模型の中で仕組みが体験できるほか、タッチ式モニターを使って「発電の仕組み」や「安全管理」に関するクイズに参加できるなど、楽しみながら原子力発電に関する理解を深められる内容となっています。

- 原子力展示 (泊発電所の仕組み)
- 地域展示 (西積丹の歴史、風土、自然)
- 科学展示 (体験型ゲーム)

見学のおすすめポイント

原子力や科学だけでなく、発電所建設時に発掘された土器類の復元・展示や西積丹の自然・歴史を紹介したパネルなどの「地域展示」を通じて、地域の自然・風土・歴史を学ぶことができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.hepco.co.jp/corporate/nextgeneration/tomarin/>



02

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター ゆめ地創館

〒098-3224
北海道天塩郡幌延町字北進432番地2
JR宗谷本線「幌延駅」下車、沿岸バス・豊富駅行き
「深地層研究センター」下車

見学内容



2007年開館。国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が幌延深地層研究センターで行っている、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究内容を分かりやすく紹介しています。館内には、地下施設の様子をリアルタイムで見ることができるモニターや展示物があり、これらを通して研究内容を理解することができます。また、地上45mから地下施設工事現場全景や周辺の地形が一望できる展望階も設けられています。見学に際しては、ご希望に応じて係員による案内が可能。

- 地下施設のリアルタイム映像
- パーチカル・トランスポート (VT-500)
※地下500mまでの降下を疑似体験できるエレベーター
- 地上45mの展望階

見学のおすすめポイント

地下施設の様子をモニターを通してリアルタイムで見ることができます。また、事前予約することで、地下施設を実際に見学することもできます。

詳細・見学のお申し込みは

● ゆめ地創館
<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/yumechisoukan/>

● 地下施設
<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/visits/index.html>



03

東北電力/東京電力ホールディングス 東通原子力発電所PR施設 トントウビレッジ

〒039-4223
青森県下北郡東通村大字小田野沢字見知川山1-809
JR大湊線「下北駅」下車。下北交通バス・大畑方面行きに乗り。むつバス停で泊車庫行きに乗り継ぎ約1時間、「トントウビレッジ前」下車

見学内容



1999年開館。美しい自然に囲まれた青森県下北郡東通村の、豊かな緑の森にあります。ここでは、私たちの暮らしに欠かすことのできない自然とエネルギーについて、その大切さを理解し、実感できる場所。森の妖精「トントウ」が、人と自然が仲良く暮らす村を案内してくれます。原子力発電の仕組み模型やパネル展示などで原子力エネルギーや、東通原子力発電所について楽しく学べるほか、トントウの森やエデュートープなどで東通村に生息する動植物と触れ合い、地元の豊かな自然に親しむことができます。多目的シアターや多目的ルームは地域の皆さまにも開放されています。

- 展望室 (最上階から周辺 360°の眺望)
- 原子力コーナー (原子力発電の仕組みなど)
- しんがく館 (ミニシアターなど)
- しんゆう館 (トントウの森など)
- エデュートープ
(自然の中を散策できる小道など)

見学のおすすめポイント

森の妖精「トントウ」と一緒に自然とエネルギーの関わりを学べる施設です。森に住む動植物を観察でき、エネルギーの仕組みを知ることができます。

詳細・見学のお申し込みは

<http://www.tonttu-village.jp/cgi-bin/information.cgi>





04

日本原燃株式会社
六ヶ所原燃PRセンター

〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村尾駮字上尾駮2-42
青い森鉄道「野辺地駅」下車、下北交通バス・泊車庫行き「大石総合運動公園前」より徒歩1分

見学内容



ウラン濃縮工場や再処理工場など、原子燃料サイクル施設の役割と仕組みについて、分りやすく紹介。館内は、六ヶ所原子燃料サイクル施設の内部を大型模型で再現した「原燃ツアーズ」、ゲームで遊びながら地球環境やエネルギー、放射線について学べる「サイクルステーション」、地上20mの高さから原子燃料サイクル施設が一望できる「展望ホール」の3ブースで構成されています。事前予約をすれば、スタッフの案内で見学することもできます。

- 原燃ツアーズ(再処理施設の紹介)
- 放射線モノ知りコーナー(放射線の基礎)
- エネルギーラボ(さまざまな発電方法の紹介)
- パワースタジオ(原子力発電の基礎)
- 壮大パノラマの展望ホール

見学のおすすめポイント

「原燃ツアーズ」では、原子燃料サイクル施設を迫力ある大型模型で再現しています。また、学校などの団体向けに、放射線計測実験をはじめとする実験・工作プログラムが用意されています。

詳細・見学のお申し込みは



<https://6prc.jp/>



05

国立研究開発法人
量子科学技術研究開発機構
六ヶ所フュージョンエネルギー研究所(六ヶ所地区)

〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字表館2-166
青い森鉄道「野辺地駅」下車、下北交通バス「六ヶ所村弥栄平停留所」(泊車庫前方面)

見学内容



核融合専用のスパコン

太陽が輝くエネルギー源であるフュージョン(核融合)エネルギーの実用化を目指し、日欧国際協力で研究開発に取り組んでいます。欧州の実験装置に遠隔で実験参加できるシステムや、日欧が共同で設計・製作した世界最高電流のビーム加速を行う加速器の制御室、核融合研究開発のさまざまなシミュレーションを行うスーパーコンピューターなどの見学を通して、研究内容を紹介します。また、核融合発の新技术である海水からリチウムを回収する技術も見学可能。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- 欧州と遠隔実験を行う巨大モニタールーム
- 核融合専用のスーパーコンピューター
- 世界最高電流ビームの加速器の制御室
- 原型炉の概念設計や材料研究の施設
- 海水からリチウムを回収できる特殊な膜

見学のおすすめポイント

核融合の原理や特徴について、動画などを用いて分かりやすく説明します。説明を聞いた後、実際に研究開発を行っている各建屋内を見学することができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.qst.go.jp/site/rokkasyo/47044.html>
※担当：六ヶ所フュージョンエネルギー研究所 管理部庶務課



06

青森県量子科学センター

〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字表館2番190
青い森鉄道「野辺地駅」下車、下北交通バス・泊車庫行き「六ヶ所村弥栄平停留所」下車

見学内容



原子力を含む幅広い量子科学分野の人材育成と研究開発の拠点として、2017年、青森県により開設。本センターは、サイクロトロン加速器を中核として、PET/CT装置やPET/MRIなどを活用した放射性同位元素の医学・工学領域への応用、ならびに新たな放射線計測技術などの研究開発が行われています。見学については、本センターで行われている量子科学分野の研究開発活動をパネル解説しているほか、最先端の研究機器などを見ることが出来ます。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- サイクロトロン加速器
- PET/CT装置
- PET/MRI装置
- BNCT装置
- NRT装置

見学のおすすめポイント

陽子ビームを発生するサイクロトロンをはじめ、最先端のPET/CTを見学できます。また、施設公開時には、理科教室「スライムを作ろう」を楽しく体験することもできます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.aomori-qsc.jp/siteinfo/contact.php>



07

エネルギー館
あしたをおもう森

〒030-0803
青森県青森市安方一丁目1番40号 青森県観光物産館アスパム2階
JR東日本・青い森鉄道「青森駅」より徒歩約8分

見学内容



地球環境や限りあるエネルギー資源について、楽しみながら「見て、触れて、地球環境・エネルギー問題を体感できる」施設です。館内は海・空・大地・エネルギー・まち・森の6つのコーナーと知の小径に分かれており、各コーナーを回りながら地球環境の変化や、エネルギー資源にまつわるさまざまな知識を楽しく学ぶことができます。森コーナーでは、未来の地球のために思ったこと・感じたことをメッセージに残すことも。体験を通して、さまざまな問題を自分ごととして考えるきっかけを与えてくれます。

- 空から地球を眺めるフライングシアター
- 手で回す「発電体験ハンドル」

見学のおすすめポイント

各コーナーは、遊びを通して学習・体験できるよう工夫されており、家族のコミュニケーションの場として、また子どもたちの校外学習や子ども会活動の場として利用できます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://ashitawo-omou-mori.jp>



08

日本原燃サイクル情報センター

〒030-0801
青森県青森市新町2丁目2-11 東奥日報新町ビル2F
JR東北線「青森駅」より徒歩10分。青森市営バス「県庁前」・「県庁通り」・弘南バス「県庁通り」より徒歩3分

見学内容



「遊べる。学べる。」をコンセプトに、エネルギーや放射線について楽しく学べる施設です。自転車をこいで鉄道模型を動かす発電体験コーナーや放射線測定コーナーなどの体験型展示が充実しているほか、エネルギーに関することや日本原燃の仕事・取り組んでいる安全対策についても紹介しており、原子燃料サイクルに関連する内容を幅広く学ぶことができます。

- 放射線測定体験
- 発電体験コーナー
- 家族で参加できるイベントも充実

見学のおすすめポイント

原子燃料サイクルや身近にある放射線のこと、日本原燃の仕事などを楽しく学べます。また、家族で楽しめるタッチパネルゲームを常設展示。各種イベントも定期的に開催しています。

詳細・見学のお申し込みは

<https://cic-aomori.jp/>

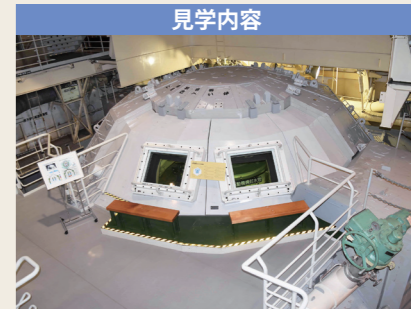


09

国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
むつ科学技術館

〒035-0022
青森県むつ市大字関根字北関根693番地
JR大湊線「下北駅」より車で約20分。またはJR大湊線「大湊駅」より車で約30分

見学内容



船の形をした当館では、原子力船「むつ」に関する展示を行っています。「むつ」の原子炉室をはじめ、操舵室や制御室など「むつ」で実際に使用された設備の数々に触れることができます。このほか、自由に動かせる自然科学に関する体験型展示や「下北ジオパーク」に関するコーナーも。また、海洋研究開発機構関連では、海洋地球研究船「みらい」(船首部分は「むつ」の船体を再利用)の50分の1模型や深海での研究成果について展示しています。インストラクターによるガイドは1週間前までに電話予約が必要。

- 原子力船「むつ」で使用された設備の数々
- 触れて遊んで科学を学べる展示物
- 北海道まで見渡せる眺望
- 科学実験・工作などの体験やイベントも充実

見学のおすすめポイント

実際に使用された原子力船の原子炉室など、「むつ」に関する展示が多数。津軽海峡に面しており、天気が良ければ、尻屋崎灯台や北海道を見渡すことができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://msm720.jaea.go.jp/>



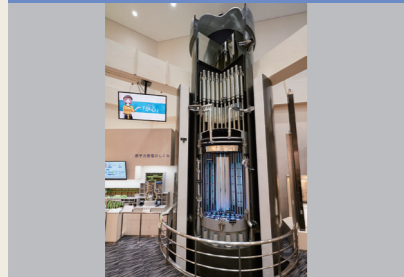


10

**東北電力株式会社
女川原子力PRセンター**

〒986-2221
宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田123
JR石巻線/仙石線「石巻駅」下車、県道398号線を
女川方面へ車で1時間。女川町内より車で25分

見学内容



原子力発電の仕組みや女川原子力発電所の安全向上に向けた取り組みをはじめ、放射線やエネルギーについて「見て・触れて・体験して」楽しく学べる施設です。東日本大震災の震源に最も近かった女川原子力発電所がなぜ無事だったのか、東京電力福島第一原子力発電所の事故と比較しながら見る事ができます。また、女川原子力発電所2号機の安全対策工事の様子を、最新デジタル技術であるVR(バーチャルリアリティ)ゴーグルで見学可能。360°全方向に広がる発電所の景色は見所満載です。アテンダントによる案内も行っています(要予約)。

- エネルギーミックスコーナー
- 1/2の原子力模型
- 地震体験コーナー
- 放射線コーナー
- 展望コーナー

見学のおすすめポイント

施設見学だけでなく、エネルギーや環境問題について楽しく学べる「エネルギー教室」も行っています(要相談)。校外学習の場として、ぜひご利用ください。

詳細・見学のお申し込みは
<https://www.tohoku-epco.co.jp/pr/miyagi/onagawa.html>

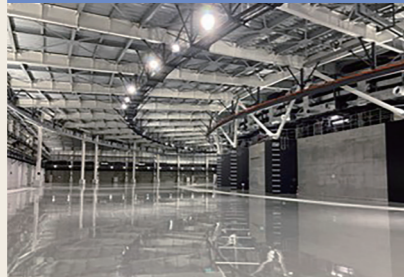


11

**3GeV高輝度放射光施設
NanoTerasu(ナノテラス)**

〒980-0845
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 ナノテラス
JR新幹線「仙台駅」下車、仙台市営地下鉄東西線
「青葉山駅」より徒歩15分、または無料連絡バス
10分

見学内容



3GeV高輝度放射光施設 NanoTerasuは、1メートルの10億分の1というナノの世界を観察できる世界最高水準の先端大型研究施設です。見学の際は、まずNanoTerasu内の見学ホールで、NanoTerasuの概要を説明します。概要説明後は、見学ホール内を自由に回ることができます。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- NanoTerasuの概要説明
- NanoTerasuの紹介ビデオ上映
- 実験ホール(見学ホールより)
- クライストロンギャラリーの見学(見学ホールより)

見学のおすすめポイント

世界最先端の放射光施設 NanoTerasuの紹介に加え、放射光施設の仕組みや利用例を一般の人にもわかりやすく説明します。

詳細・見学のお申し込みは
<https://nanoterasu.jp/>
※担当：NanoTerasu 総括事務局



12

**国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
廃炉環境国際共同研究センター(富岡施設)**

〒979-1151
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚790-1
JR常磐線「富岡駅」よりタクシーで約5分

見学内容



当施設では、福島第一原子力発電所の廃炉を安全・迅速・確実に進めるため、放射性廃棄物の管理や環境回復などについて研究・技術開発を行っています。廃炉に向けて困難な課題が山積するなか、どのような研究活動を行っているのか、研究棟や多目的試験棟の見学を通して学ぶことができます。見学には、2週間前までに事前申し込みが必要です。申し込みや見学に際しての留意事項などの詳細は下記URLで。

- 研究棟内の見学
- 多目的試験棟内の見学

見学のおすすめポイント

福島第一原子力発電所の事故から10年以上が経過した現在、廃炉に向けて、また福島への復興に向けてどのような研究が行われているのか、理解を深めることができます。

詳細・見学のお申し込みは
<https://fukushima.jaea.go.jp/visit/>



13

**国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
楢葉遠隔技術開発センター(NARREC)**

〒979-0513
福島県双葉郡楢葉町大字山田岡字仲丸1-22
JR常磐線「木戸駅」よりタクシー(要予約)で約5分、または徒歩約30分(約2km)

見学内容



東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所(1F)の廃炉推進のため、ロボットなど遠隔操作機器の開発実証施設として整備され、研究管理棟と試験棟から構成されています。研究管理棟には、廃炉作業の作業計画検討や作業訓練などに活用可能なバーチャルリアリティシステムやロボットシミュレーターを整備。試験棟は、ロボットなどの性能評価のための試験設備を備えるほか、室内大空間を活用したモックアップ(実規模)試験に利用されるなど、高度な遠隔技術開発が行われています。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- バーチャルリアリティ(VR)システム
- ロボット試験用水槽
- モックアップ階段
- モーションキャプチャー

見学のおすすめポイント

バーチャルリアリティシステムは、VR(仮想現実)技術を用いて、あたかも1Fの現場にいるような感覚を体験できるシステムです。

詳細・見学のお申し込みは
<https://fukushima.jaea.go.jp/visit/>



14

**環境省
特定廃棄物埋立情報館
リプルンふくしま**

〒979-1131
福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7
JR常磐線「竜田駅」よりタクシーで約4.4km、またはJR常磐線「富岡駅」よりタクシーで約3.4km

見学内容



東京電力福島第一原子力発電所の事故後に取り組んできた、放射性物質に汚染された廃棄物の埋立処分事業や安全性について「見て、触れて、学べる」をコンセプトに情報発信。館内では、廃棄物の発生経緯から運び出し、埋立てまでの流れを、デジタルコンテンツや模型で学習できます。併設するモニタリングフィールドでは、空間線量率測定や水質調査などのモニタリング体験が可能。そのほか、埋立技術の模擬体験や放射線測定器を使った体験も充実。見学を通して福島への歩みを学ぶことができます。

- 体験しながら学べる常設展示
- 実際の特定廃棄物埋立処分施設の見学
- 各種モニタリング体験
- 自然実験教室、埋立技術体験教室
- キッズスペース完備

見学のおすすめポイント

放射性物質に汚染された廃棄物の埋立処分について、展示や各種模擬実験などを通して体験しながら学べます。校外学習や修学旅行向けプログラム、教員向け見学ツアーも実施。

詳細・見学のお申し込みは
http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/reprun/



15

東京電力廃炉資料館

〒979-1111
福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378番地
JR常磐線「富岡駅」より徒歩15分

見学内容



原子力事故の事実と廃炉作業の現状などを国内外へ伝える場として開館。館内は、東京電力からのごあいさつ文が掲示されている「プロローグ」、原子力事故を振り返り、その反省と教訓を伝える「記憶と記録・反省と教訓」、廃炉作業の全容と最新の現場状況を伝える「廃炉現場の姿」、福島復興への取り組みや原子力・放射線などの情報が閲覧できる「情報スペース」の4つのゾーンで構成されています。

- シアターホール
- 反省と教訓(事故の根本原因分析)
- エフ・キューブ(廃炉作業の現場)
- 汚染水・処理水対策
- 廃炉現場のロボット(遠隔作業ロボット紹介)

見学のおすすめポイント

シアターホールでは、地震発生から原子力事故とその対応を映像で分かりやすく紹介。また、エフ・キューブ(F・CUBE)では普段立ち入ることのできない廃炉現場を、大型モニターと最新の写真で疑似見学できます。

詳細・見学のお申し込みは
https://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/decommissioning_ac/





16

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」

〒963-7700
福島県田村郡三春町深作10番2号
JR磐越東線「三春駅」下車、三春町町営バス「環境創造センター」下車

見学内容



2016年に開館した「コミュタン福島」では、事故後の福島第一原子力発電所の模型や東日本大震災発生当時の新聞、年表、復興へ向けた福島の挑戦を収めた映像などを通して、原子力災害を受けた福島の歩みを学ぶことができるほか、放射線の「飛んだあと」を見ることが出来る「霧箱」や放射線に関するゲームを通じ、楽しみながら放射線に関する基礎知識を習得できます。また、デジタル地球儀などによりSDGsや地球温暖化などの環境問題も学ぶことができます。

- 福島県の3.11から(震災直後の福島)
- 福島県の環境のいま(福島県の環境回復)
- 放射線ラボ(放射線測定マップなど)
- 環境創造ラボ(再生エネルギーなど)
- 環境創造シアター(360°の映像を体験)

見学のおすすめポイント

スタッフが展示の解説や質疑応答を行い、館内での学びをサポートします。また、学年・学習目的に合わせた見学コースや体験学習プログラムを複数用意。滞在時間や人数などに応じた調整も可能です。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.com-fukushima.jp/infomation/download.html>



17

東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール

〒945-0307
新潟県刈羽郡刈羽村大字刈羽4236-1
JR越後線「刈羽駅」より徒歩20分

見学内容



1979年開館。柏崎刈羽原子力発電所を身近に感じられるよう案内する施設であるとともに、地域住民の憩いの場として活用されています。2020年7月には、より分かりやすく楽しく利用できるようにリニューアル。展示館(エコロンの森)では、映像や模型、プロジェクションマッピング演出などを用いて、原子力発電の仕組みや安全対策、発電所所員の訓練の様子などを紹介。希望すれば、スタッフによる解説が受けられます。また、キッズフロアでは体験型アトラクションゲームにチャレンジしてエネルギーについて楽しく学ぶこともできます。

- 発電所ジオラマ(敷地と安全対策)
- 1/5原子炉模型(原子力発電の仕組み)
- 中央制御室モニター(運転、訓練の様子)
- スカイキャンプ(体験型アトラクション)
- あおぞらテラス(くつろぎスペース)

見学のおすすめポイント

原子力発電所の安全対策や建屋内をバーチャル見学(VR体験)することができます。土・日・祝日は、子ども向けの「実験教室」や「工作教室」などを開催しています。

詳細・見学のお申し込みは



https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/communication/s_hall/index-j.html



18

要申込

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所(高崎地区)

〒370-1292
群馬県高崎市綿貫町1233
JR「高崎駅」下車、高崎市内循環バスぐるりん「高崎量子技術基盤研究所」下車

見学内容



電子やイオンなどをビーム状に整えたものの総称である「量子ビーム」を用いて、材料・物質科学や生命科学の研究を行っています。原子レベルの極小世界の効果で機能を発揮する量子機能材料の創製やイチゴ内の糖分の動きの撮影に利用されている「イオン照射研究施設」、量子センシング材料や生体適合性材料の創製で活躍している「電子線照射施設」のほか、これまでに創出された成果物の展示を見学することができます。見学の受け付けは平日のみで、事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- イオン照射研究施設(TIARA)
- 電子線照射施設(1号加速器)
- サイエンスプラザ(成果物の紹介・展示)

見学のおすすめポイント

イオン照射研究施設(TIARA)は、材料・物質科学や生命科学の研究開発に最適化された多種多様なイオンビームを提供する、世界でも有数の研究施設です。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.qst.go.jp/site/taka/>
※担当：高崎量子技術基盤研究所 管理部庶務課
TEL.027-346-9232
E-Mail : taka-soumu@qst.go.jp



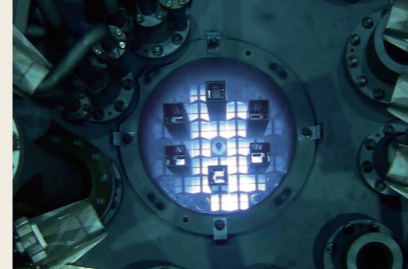
19

要申込

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

〒319-1195
茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4
JR常磐線「東海駅」東口よりタクシーで約10分、またはバスで「原研前」下車すぐ

見学内容



日本の原子力研究開発を行う中枢機関である日本原子力研究開発機構が、研究の拠点としている施設です。原子力の安全と平和的利用、原子力活用による技術発展のため、日々研究を行っています。施設内には研究用原子炉や加速器、放射性物質を安全に取り扱える施設など、貴重な設備があります。見学の際は、テクニカルアドバイザーが研究所構内を一巡しながら主要施設の概要を説明し、J-PARC(大強度陽子加速器施設)などを案内します。見学には2週間前までに事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- 研究炉、安全研究施設、J-PARCなどの貴重な施設
- 知識豊富なテクニカルアドバイザーによる案内

見学のおすすめポイント

原子力発祥の地・東海村。原子力科学研究所では現在も最先端の研究が続けられています。普段は見ることができない研究所内部をアドバイザーと一緒に回することで、理解と知識が深まります。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/contact.html>



20

日本原子力発電株式会社 東海原子力館 別館

〒319-1108
茨城県那珂郡東海村松2-7-43
JR常磐線「東海駅」よりタクシーで約10分

見学内容



ふれあいの広場と研修ホールがあり、パネルを見ながら簡単に答えられるクイズを通して、エネルギーや原子力を身近に感じることができます。また、バーチャルリアリティによる発電所案内ツアーや、春夏秋冬のつるし飾りなど地域住民の作品を展示する場「ふれあいギャラリー」を、自由に見学できる施設です。なお、従来の東海原子力館(東海テラパーク)は、事前に見学予約した来場者用の施設として使用しています(2020年10月2日開館)。

- 原子力発電に関するパネル、原子力発電模型や映像
- 日本のエネルギー情勢や発電の仕組みに関するパネル、火力発電・風力発電などの模型

見学のおすすめポイント

ふれあいの広場では、原子力発電について分かりやすい模型やパネルを展示するとともに、東海第二発電所の安全性向上対策について詳しく説明しています。

詳細・見学のお申し込みは



<http://www.japc.co.jp/gendenkan/tokai/index.html>



21

公益社団法人 茨城原子力協議会 原子力科学館

〒319-1112
茨城県那珂郡東海村松225-2
JR常磐線「東海駅」下車、茨交バス・茨城東病院行き「原研前」より徒歩2分

見学内容



アインシュタインら科学者たちの足跡を追いかけて、原子の科学や放射線を紹介する「原子力に関する総合博物館」です。放射線の通った跡が見える世界最大級の大型霧箱や、実際に放射線を計測できるコーナーなど、見て触れて楽しく学ぶことができます。2021年3月には新たに、ガイダンスシアター『アトミックトラベルー原子の力ー』が完成。円筒形のシアター空間で没入感のある映像を用い、原子の世界や放射線について分かりやすく紹介しています。

- ガイダンスシアター(映像による紹介)
- 世界最大級の大型霧箱(放射線観測)
- 実物周期表(元素の性質などを確認)
- 電車に乗って放射線計測(模型を走らせ計測)
- 身の回りの放射線(実際に放射線を計測)

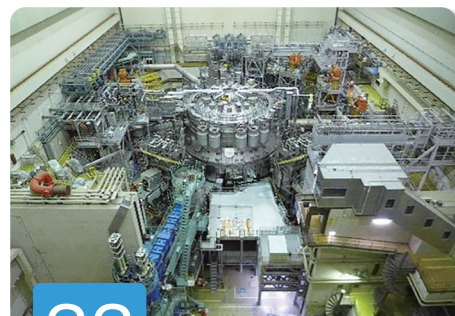
見学のおすすめポイント

新展示「ガイダンスシアター」では、原子力や放射線の基礎知識などを映像で学べ、大型霧箱では、放射線が身近にあることが実感できます。このほか、目で見ると放射線観測体験「霧箱」製作や工作教室も随時開催。

詳細・見学のお申し込みは



<http://ibagen.or.jp/guide/index.php>



22

要申込

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所(那珂地区)

〒311-0193
茨城県那珂市向山801-1
JR常磐線「東海駅」よりタクシーで約15分

見学内容



地球環境に優しく、未来のエネルギー源として注目が集まるフュージョン(核融合)エネルギー。当研究所では「地上に太陽を」を合言葉に、核融合反応で発生するフュージョンエネルギーを生み出し、安全性に優れた核融合発電を実現するため、世界最先端の研究開発を進めています。数々の最先端技術が詰まった研究施設の紹介をはじめ、核融合炉内を遠隔で保守するロボットの操縦体験や超伝導磁石に関する実験など、体験型学習も充実。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- JT-60で使用された巨大なコイル群
- 遠隔保守機器(ロボットアーム)操縦体験
- 人工ダイヤモンドの水切り体験
- 核融合実験装置JT-60SAのライブ映像
- 研究者や技術者による解説

見学のおすすめポイント

核融合の原理や装置、研究内容について、研究者や技術者が分かりやすく解説。世界最先端の研究施設を間近で見学可能です。また、さまざまな実験や体験を通じて、最新の科学に触れることができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.qst.go.jp/site/naka/4475.html>
※担当：那珂フュージョン科学技術研究所 管理部庶務課



23

要申込

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 大洗研究所

〒311-1393
茨城県東茨城郡大洗町成田町4002番地
鹿島臨海鉄道「大洗駅」よりタクシーで約10分

見学内容



当研究所は、次世代革新炉という未来の原子炉技術の研究を行っており、国際的にもその中核拠点として知られています。次世代革新炉はカーボンニュートラル社会の実現に向けて期待されている技術であり、当施設では高温工学試験研究炉(HTRR)や、高速実験炉(常陽)などを中心に研究開発を進めています。見学の際は、広報チーム「シュガーズ」が案内します。また、見学には2カ月前から2週間前までに申し込みが必要。詳細は下記URLで。

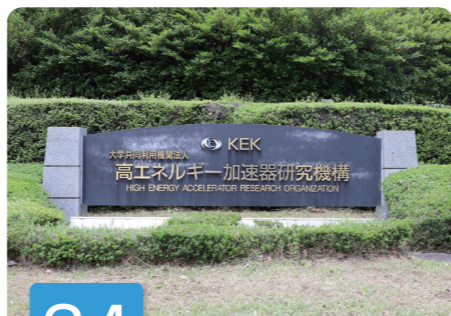
- 次世代革新炉のロビー見学
- 広報チームによる案内

見学のおすすめポイント

カーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、次世代革新炉技術の研究を進めています。その最先端の現場を間近で見て、エネルギーや環境問題について考えを深めることができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/contact.html>



24

要申込

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

〒305-0801
茨城県つくば市大棟1-1
つくばエクスプレス「つくば駅」下車、つくバス・北部シャトル、あるいは関東鉄道バス・テクノパーク大穂行き、または下妻駅行き「高エネルギー研究所」より徒歩1分

見学内容



高エネルギー加速器研究機構(KEK)では、最先端の大型粒子加速器という装置を使って基礎科学の研究を推進しています。この装置は、電子や陽電子などの粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギーの状態をつくり出すことができ、宇宙の起源、物質や生命の根源の追究に貢献しています。常設展示室「KEKコミュニケーションプラザ」では、3面シアターをはじめ、加速器が動く仕組みや素粒子について学ぶことが可能。そのほか、身近にある放射線を観測できる霧箱など体験型学習も。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- KEKコミュニケーションプラザ
- Bファクトリー実験施設
- 放射光実験施設

見学のおすすめポイント

KEKでは、多くの人々が加速器科学の最前線に触れるよう、加速器や粒子測定器の実物を前に研究者が解説を行う施設見学の機会を提供しています。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.kek.p/ja/publicrelations/j>



25

公益財団法人 日本科学技術振興財団 科学技術館

〒102-0091
東京都千代田区北の丸公園2番1号
東京メトロ東西線「竹橋駅」より徒歩7分、または東京メトロ東西線/半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」より徒歩9分

見学内容



科学技術館は、現代から近未来の科学技術や産業技術に関する知識を広く国民に対して普及・啓発する目的で1964年4月に開館。展示は参加体験型のものが多く、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に対する興味・関心を深められるよう構成されています。原子力・放射線だけでなく、科学技術に関して多岐にわたった展示があります。団体見学を受け付けており、小・中学校で学習する教科項目に関連した、おすすめ展示見学コースをホームページで紹介しています。

- 原子燃料サイクルツアー
- 原子力発電の仕組み
- ジオ・ラボ ワークショップ(放射線)
- 地層処分シアター
- ※いずれも3階の展示室

見学のおすすめポイント

アトミックステーション ジオ・ラボは、地球が持つさまざまなエネルギーを研究する実験ステーション。模型やアニメーションに加え、自然放射線の存在を霧箱や携帯型放射線測定器で確認する体験ワークショップも開催。

詳細・見学のお申し込みは

<http://www.jsf.or.jp/group/group-school/>



26

三菱みなとみらい技術館

〒220-8401
神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号
三菱重工横浜ビル
JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩8分、またはみなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩3分

見学内容



子どもたちが科学技術に触れ、夢を膨らませることのできる場となることを願い、1994年6月、三菱重工業株式会社が設立。三菱重工の技術を「陸、海、空・宇宙」の3つのゾーンを中心に紹介しています。陸ゾーンでは、火力発電・風力発電・原子力発電や核融合などの仕組みを模型等で展示。海ゾーンには、水深6,500mまで潜水可能な深海潜水調査船「しんかい6500」の実物大模型があり、世界最高水準の技術を実感できます。空・宇宙ゾーンではロケットに搭載される新・旧2つのエンジンの実物を展示しています。

- 「しんかい6500」の実物大 分解模型
- ロケットエンジンの実物
- 巨大円筒形スクリーンに広がるシアター

見学のおすすめポイント

日本企業が誇る高い技術開発力を体感できる施設。子どもだけでなく大人も、さまざまな模型やスクリーン展示を通して科学技術に触れ、技術発展にさらなる希望を持つことができます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://www.mhi.com/jp/company/overview/museum/minatomirai/>



27

日立オリジンパーク

〒319-1221
茨城県日立市大みか町6-19-22
JR常磐線「大甕駅」西口より徒歩15分

見学内容



1910年、久原鉱業所日立鉱山工作課長・小平浪平の指導下で製造された5馬力誘導電動機より誕生した日立製作所。その創業の精神やこれまでの歩みを伝える施設として2021年11月にオープンしました。「小平記念館」では、創業から現在に至る歴史を製品やパネル、タッチモニターにより展示。「創業小屋」は、1910年の追体験をコンセプトに再復元。施設の使用電力は、100%再生可能エネルギーで運用されていることも特徴です。小平記念館や創業小屋での展示は、下記HPよりバーチャルツアーで見学可能。

- 重要文化財「5馬力誘導電動機」
- 伝統的な建築様式の「大みかクラブ」

見学のおすすめポイント

展示品の1つ「5馬力誘導電動機」は、日本人により製造された純国産モーターとして現存最古で、2023年6月に重要文化財に。創業から100年以上続く日立の精神が感じられます。

詳細・見学のお申し込みは

<https://origin.hitachi.co.jp>



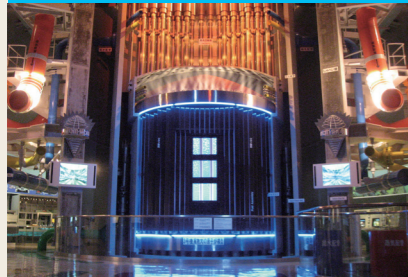


28

中部電力株式会社 浜岡原子力館

〒437-1695
静岡県御前崎市佐倉5561
JR東海道本線「菊川駅」下車、路線バス・浜岡営業所経由「原子力発電所入口」より徒歩約10分

見学内容



1972年開館。浜岡原子力発電所の一角にあるPR館です。展示ゾーンでは、実際に作動する高さ22mの実物大原子炉模型や中央制御盤、燃料模型などを展示し、映像を交えながら原子力発電の仕組みを分かりやすく説明しています。また、クイズシアターや地下探検ツアーなどで、ウラン燃料のリサイクルや高レベル放射性廃棄物処分などについても紹介。人気の「ユウユウシアター」は、直径18mのドーム天井に美しい自然や動物の迫力ある映像が映し出されます。また、地上62mの展望台からは遠州灘が一望できます。

- 展示ゾーン(原子力について展示)
- 展望台(原子力発電所や周辺の自然を一望)
- ユウユウシアター(180°魚眼レンズの映像)

見学のおすすめポイント

7つのテーマゾーンがあり、原子力発電の仕組みを紹介するほか、私たちを取り巻くエネルギーや環境問題、放射線や地震対策を紹介するゾーンなど、体験しながら学べる展示内容が盛りだくさん!

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.chuden.co.jp/hamaoka-pr/>



29

中部電力株式会社 でんきの科学館

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄二丁目2番5号
地下鉄東山線/鶴舞線「伏見駅」下車、4番出口より東へ徒歩2分

見学内容



都市部における科学、電気・エネルギー、環境などに関する情報発信の拠点として広く科学知識の向上に役立てることに加え、次世代層の関心を高め、好奇心や気づき、発見を引き出すための場を提供することを目的に、1986年に開館。主に小・中学生を対象とし、「楽しく科学や電気とふれあう広場」をテーマに、展示館スタッフとともに楽しく学べる参加型の実験ショーや各種イベント、アトラクションを数多く用意しています。

- 電気の発見(電気の基本を学ぶ)
- 電気の旅(電気が届くまでの道のりを学ぶ)
- サイエンスプラザ(科学を体験)
- 地球とエネルギー(環境・エネルギーを学ぶ)
- オームシアター(クイズやゲームに挑戦)

見学のおすすめポイント

エネルギーや環境をさまざまな角度から探る「展示室」、科学の不思議を解き明かす「おもしろ実験」、自分の顔を取り込んでクイズやゲームに挑戦する「オームシアター」などがあり、楽しく体験しながら学べます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.chuden.co.jp/e-museum/access/>



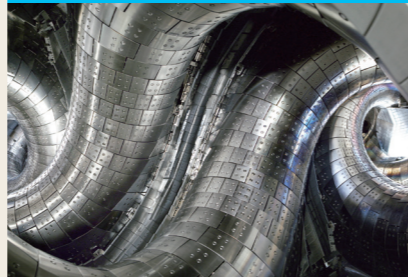
30

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所

要申込

〒509-5292
岐阜県土岐市下石町322-6
JR中央線「多治見駅」下車、東鉄バス「核融合科学研究所」より徒歩1分

見学内容



カーボンニュートラルの鍵を握る核融合エネルギー。当研究所では核融合の革新技術を早期実用化できるよう、日々研究が行われています。研究所を代表する設備が、世界最大級・最高性能のプラズマ閉じ込め装置「大型ヘリカル装置(LHD)」。

- 「大型ヘリカル装置」関連施設の見学
- 専門案内スタッフによる説明

見学のおすすめポイント

核融合エネルギーの研究では、数多くの新しい現象が発見されています。その最先端の研究施設で、世界でも最高性能の装置について専門スタッフから説明を受けることができます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.nifs.ac.jp/pr/kengaku.html>

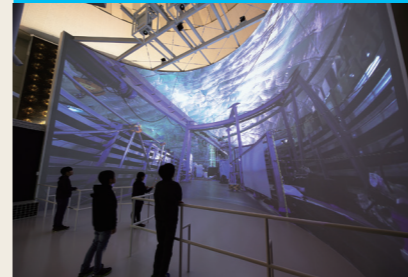


31

飛騨市 ひだ宇宙科学館 カミオカラボ

〒506-1124
岐阜県飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6番地
JR高山本線「飛騨古川駅」より車で約30分

見学内容



2019年開館。飛騨市神岡町には「ニュートリノ」の研究でノーベル物理学賞をもたらした「スーパーカミオカンデ」をはじめ、宇宙と素粒子の謎を探究するための研究拠点が集まっています。カミオカラボは、こうした研究の魅力を広く伝え、科学と社会の新しい関係性をつくるために、すべての人に開かれた場所。普段感じることのできない素粒子の不思議な性質を迫力のある映像やゲームで体感し、思いを馳せることで、日々の生活と宇宙スケールの壮大な物語とのつながりを感じることができます。

- ワンダーシップ(ニュートリノ映像など)
- 光電子増倍管(内水槽の再現など)
- むすびば(研究者によるミニ講座など)
- 体感ゲーム(観測の仕組みなど)

見学のおすすめポイント

館内ではお手持ちのカメラで映える写真を撮ることもできます。疑問点は白いベストのスタッフに聞いてみましょう。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.city.hida.gifu.jp/site/kamiokalab/kengaku-yoyaku.html>



32

北陸電力株式会社 アリス館志賀

925-0161
石川県羽咋郡志賀町赤住2部21番地
JR七尾線「羽咋駅」下車、北鉄バス・厳門行き、または荒屋経由富來行き「高浜」下車

見学内容



1994年、次世代層向けの原子力PR館として、志賀原子力発電所に隣接してオープン。イギリスの童話『不思議の国のアリス』をテーマに、身近に電気と原子力を学べる体験型施設です。志賀原子力発電所1号機の25分の1模型の中にアリスと伯爵ウサギが登場して楽しい会話で原子力発電の仕組みを紹介したり、アトムシ博士がアリスの花園で放射線についてお話しします。芝生広場には、サイクリングロードや遊具施設もあり、地元住民の触れ合いの場(地域共生施設)としても活用されています。

- 展示室(アリスの森、アリスの泉など)
- エントランスホール(ジオラマなど)
- 映像ホール(原子力発電所の説明など)
- 展望台(気象観測鉄塔など)
- 芝生広場(遊具など)

見学のおすすめポイント

子どもたちにエネルギーについて理解を深めてもらうため、小学生を対象とした科学教室なども実施しています。

詳細・見学のお申し込みは



<http://www.rikuden.co.jp/alice/index.html>



33

福井県 原子力の科学館「あっとほうむ」

〒914-0024
福井県敦賀市吉河37-1
JR北陸本線「敦賀駅」下車、ぐるっと周遊バス「あっとほうむ」下車

見学内容



1976年開館。エネルギーの不思議を楽しく解決できる「原子力とエネルギーの学習遊園地」をコンセプトにした科学館です。電気やエネルギー、環境、原子力といったテーマ別に8つのゾーンで構成され、参加体験型の展示装置やアトラクションなどを通じて、「あっと」驚く体験と「はっと」気づく発見が楽しめます。ゲームやクイズが楽しい「あっとシアター」や参加体験型の展示物、遊具がたっぷりの屋外科学の広場、自然を満喫できるわくわく山歩道、隣接して福井県原子力環境監視センターなどがあります。

- あっとシアター(ゲーム、クイズなど)
- さまざまな発電方法を学習できる展示物
- 科学の広場(屋外の展示物、遊具など)
- わくわく山歩道(自然を満喫)

見学のおすすめポイント

「あっと・ザ・サイエンス」「あっと・ザ・セミナー」「学習ノート」「展示アプリ」などの学習プログラムを用意。福井県内で開催される研修会などに無料で講師を派遣。出張エネルギー工作・科学実験教室も開催。

詳細・見学のお申し込みは



<http://www.athome.tsuruga.fukui.jp/facility/information/index.html>



34

**日本原子力発電株式会社
敦賀原子力館**

〒914-8555
福井県敦賀市神町1
JR新幹線/北陸本線「敦賀駅」下車、敦賀市コミュニティバス・常宮線「原電前」より徒歩5分

見学内容



自然豊かな敦賀半島の先端に位置している原子力館。敦賀発電所の仕組みや周辺の美しい自然環境について、模型や映像を使って紹介しています。日本のエネルギー事情や地球温暖化などの環境問題にも触れながら、焼き固めたウランを格納している実物大の燃料集合体を見学したり、廃棄物処理について模型やパネルを使って学べます。普段は目に見えない放射線を可視化できる装置もあり、幅広く原子力やエネルギーについての知識を深めることができます。

- VRで発電所の中にあるような体験が可能
- 4m以上もある燃料集合体の実物大模型
- 敦賀半島の美しい自然

見学のおすすめポイント

原子力発電について、燃料や放射線のことも含め、幅広く学ぶことができます。また、季節ごとにさまざまなイベントを開催。美しい自然の中にあり、周辺を散策するのもおすすめです。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.japc.co.jp/gendenkan/tsuruga/>



35

**国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
新型転換炉原型炉ふげん**

〒914-8510
福井県敦賀市神町3番地
JR北陸本線「敦賀駅」より車で約30分

要申込

見学内容



「ふげん」は1979年3月に本格運転を開始し、2003年3月まで運転されていた原子力発電所。現在は廃止措置中であり、環境への負荷をできる限り軽減し、安全かつ合理的に解体撤去できるよう取り組んでいます。見学は、担当スタッフが廃炉措置状況をVR映像や資料などを使って説明した後、建屋外周へ。少人数制で1時間半程度のため、「廃止措置の現状」をじっくり見ることができます。見学には、希望日の2週間前までに専用フォームでの申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- 廃炉措置についてのVR映像
- 建屋を間近で見学可能

見学のおすすめポイント

「ふげん」廃止措置は国内初の大規模水炉廃止プロジェクト。2008年から現在まで慎重に段階を経ながら、安全第一で作業を進めています。建築から廃炉までの流れを学ぶのに役立つ施設です。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/intro/guidance.html>



36

**国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
高速増殖原型炉もんじゅ**

〒919-1279
福井県敦賀市白木2-1
JR北陸本線「敦賀駅」より車で約40分

要申込

見学内容



1985年着工。高速中性子によって燃料を増殖しながら、冷却材のナトリウムで熱を取り出して発電するタイプの原子炉です。熱出力71.4万kWに対し、電気出力は28万kWと高い熱効率です。発電プラントとしての成立性を実証するために開発され、「もんじゅ」の運転や保守を通じて燃料の増殖比や放射性廃棄物の低減に向けた炉心データなど、さまざまな知見や技術的成果が得られました。2016年に廃炉が決定し、現在は、わが国で最初のナトリウム冷却高速炉の廃止措置として研究が進められています。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- 高速増殖原型炉もんじゅ
- ナトリウム取扱研修棟

見学のおすすめポイント

原子力発電の燃料であるウラン資源の利用効率を飛躍的に高め、輸入資源に頼らず安定したエネルギーを得ることができ、「高速増殖炉」の仕組みと安全性、現在の廃止措置の状況について学べます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/intro/guidance.html>



37

**福井県美浜町
エネルギー環境教育体験館
「きいばす」**

〒919-1201
福井県三方郡美浜町丹生62-1
JR北陸本線「敦賀駅」下車、路線バス・白木行き「きいばす」下車

見学内容



2017年開館。科学館の枠を超え、エネルギー環境教育に特化した、日本で唯一の体験型の学び舎です。丹生湾を挟んで対岸には、日本初の加圧水型商業炉である美浜発電所が立地しています。本館では、日々変化する世界のエネルギー情勢に合わせた体験プログラムやイベント・講座により、「2050年温室効果ガス排出量ゼロ」目標の背景、達成方法や課題など、エネルギー環境教育の分野において取り組むべき喫緊のテーマに沿った体験学習を提供しています。

- 40種類のオリジナル体験プログラム
- 展示物や体験コーナーを巡る館内ツアー
- 世界のエネルギー情勢に合わせた講座
- 追尾式太陽光発電システム、蓄電池とV2H
- バッテリーカーやインモーションの乗車体験

見学のおすすめポイント

町のエネルギー環境教育カリキュラムに沿った小1〜中3の体験プログラムは、すべて専門の指導者が担当。また、中学生向けをより高度にしたプログラムは、高校生が十分に興味や関心を持てる内容となっています。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/kiiipas/>



38

**関西電力株式会社
美浜原子力PRセンター**

〒919-1201
福井県三方郡美浜町丹生
JR北陸本線「敦賀駅」、またはJR小浜線「美浜駅」よりタクシーで約30分

見学内容



美浜発電所は、日本初の加圧水型商業炉として1967年11月に運転を開始。現在、3号機は稼働中ですが、1・2号機は廃炉を決定し、廃止措置を進めています。当センターでは、「見たい!知りた!エネルギー」をテーマに、原子力発電の仕組みや地震・津波などに対する原子力発電所の安全性向上対策、さまざまなエネルギーを組み合わせるエネルギーミックスなどについて、模型や映像で学べる施設です。希望者にはスタッフによる案内やVRスコープを使った発電所見学も行っていただけます。

- 原子炉体験シアター
- 模型と特殊映像による安全性向上対策
- VRスコープを使った発電所見学
- 若狭湾を臨むカフェNEU

見学のおすすめポイント

美浜発電所には稼働中と廃止措置中の原子炉があり、当センターは原子力発電所の安全性向上対策などを知ることができる施設です。水晶浜や三方五湖など、周辺の見どころも満載。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.kepco.co.jp/corporate/profile/community/pr/mihama/index.html>



39

**関西電力株式会社
エルガイアおい**

〒919-2107
福井県大飯郡おい町成海字1号2番(うみんびあ大飯内)
JR小浜線「若狭本郷駅」より徒歩20分

見学内容



エネルギーの未来や地球の未来について、さまざまなアクションを通して、楽しみながら学び、考え、発見できるミュージアムです。漫画家・松本零士氏プロデュースのキャラクターとともに発電所のビジュアルセンター内でオペレーション作業を体験できるコーナーや、幅22m×高さ6m、視野角120°のカーブスクリーンとバーチャルリアリティ映像システムを採用した超大型映像シアターのほか、ハンドルを回して街に電気を送ってみる体験型デジタルコンテンツもあります。

- コスモユニット・エネルギー
- シアターガイア(バーチャルシアター)
- インタラクティブコーナー
- おい町の四季(おい町の案内など)
- 原子力運転サポートセンターの紹介

見学のおすすめポイント

世界最大級のバーチャルシアターで上映される見学ツアーでは、原子力発電所をCGで再現。目の前に実物大で現れる原子炉など迫力あるVR体験を交え、普段は入ることができない発電所内を巡ることができます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.kepco.co.jp/corporate/profile/community/pr/elgaia/index.html>



40

要申込

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所(木津地区)

〒619-0215
京都府木津川市梅美台8-1-7
近鉄奈良線「近鉄奈良駅」、またはJR奈良線「奈良駅」下車、奈良交通バス「梅美台西」/「関西光量子科学研究所」下車

見学内容



世界トップクラスの高強度レーザー装置「J-KAREN-P」をはじめとする最先端のレーザー技術と高度なシミュレーション計算を基盤とした学術の最先端を目指した研究や、イノベーション創出に向けたレーザーの産業・医療応用に関する研究を行っています。施設見学の際には、ご希望に応じ専門家による講義を併せて行うことも可能。また、光の基本的な性質から最先端の光の利用技術まで、楽しみながら学ぶことができる科学館も併設しています。見学には事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- 関西光量子科学研究所の概要説明
- レーザーなどの実験施設の見学
※見学内容は実験の都合で調整します。
- 専門家による講義(応相談)
- きつづ光科学館ふおとん(研究所に併設)

見学のおすすめポイント

関西光量子科学研究所の活動について紹介します。「きつづ光科学館ふおとん」では光の不思議さ、光が引き起こすさまざまな現象に触れ、量子科学技術を身近に感じられます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.qst.go.jp/site/kansai-overview/2527.html>
※担当：関西光量子科学研究所 管理部庶務課



41

一般財団法人大阪科学技術センター 大阪科学技術館

〒550-0004
大阪府大阪市西区靱本町1丁目8-4
Osaka Metro四つ橋線「本町駅」下車、28号出口より北へ徒歩約3分

見学内容



1963年開館。5つのテーマで科学技術の世界を分かりやすく展示した、体験しながら学べる科学技術館です。企業や研究機関など20社・8団体・27ブースで構成されており、各出展機関の最新科学技術を体験型の展示物で学ぶことができます。「エネルギー・チャレンジ・ツアー エネッチャ!」では、クイズやゲームを楽しみながら、福井県若狭地方を仮想ツーリングすることが可能。また「霧箱」で放射線(飛跡)を目で見たり、放射線量を測定できる「放射線量測定器」で室内の放射線量がひと目で分かるコーナーもあります。

- 最新の科学技術
- 体験展示物
- 団体見学コース
※見学のみ以外に映画や実験、講座のあるコースも
- 体力測定ラリー

見学のおすすめポイント

日曜日や春・夏・冬休み期間中には、実験教室や工作教室など楽しいイベントを開催。また、展示を見ながら問題を解けば、より理解が深まるワークシートも用意しています。

詳細・見学のお申し込みは



<http://www.ostec.or.jp/pop/group/>



42

要申込

近畿大学 原子力研究所

〒577-8502
大阪府東大阪市小若江3丁目4-1
近鉄大阪線「長瀬駅」下車、徒歩約10分

見学内容



日本で利用できる数少ない原子炉のうちの1つです。1961年に臨界に到達し(熱出力0.1W)、我が国の民間・大学第1号炉として運転を開始しました。現在も教育・研究用原子炉として利用されています。1974年に1Wに増強。冷却不要で核分裂生成物が極微量なので安全性が非常に高いのが特徴です。近畿大学理工学部の学生実習に用いる他、他大学の原子力を専門とする学生の実習にも活用されています。また、広範な分野の原子力研究等に利用されており、大きな成果を上げています。教員向けに原子炉実験・研修会(申込要)を開催しています。詳細は下記URLをご参照ください。

- 原子炉施設への立ち入り
→ 極低出力炉で、運転中も炉室立ち入り可
- 炉心そのものを間近に見ることができる(ただし、非運転時限定)
→ 燃料、制御棒、反射体、測定器を一望に

見学のおすすめポイント

教員のための原子炉実験・研修会では、受講者が原子炉を運転し、放射線測定を行えます。原子力・放射線の実感やイメージを持って授業を行えるよう、放射線教育の充実化に寄与しています。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.kindai.ac.jp/rd/research-center/aeri/>



43

要申込

京都大学 複合原子力科学研究所

〒590-0494
大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目
JR阪和線「熊取駅」下車、南海ウイングバス「原子力研究所前」下車すぐ

見学内容



共同利用・共同研究拠点として、研究用原子炉(KUR)や臨界実験装置(KUCA)、加速器などを用いて、理学、工学、医学、農学など多方面の研究を行っています。全国から多数の研究者や学生を迎え、大学が持つ原子力施設として国内最大規模のKURなどを利用した実験研究・教育に取り組んでいます。KUCAは原子炉の基礎研究を行うほか、全国の原子力専攻学生に対する教育にも利用されています。見学では、研究や安全管理などに従事している所員が案内します。開催日程・申し込みなどの詳細は、下記URLで。

- ミニ講義
- 原子炉棟炉室
- ホットラボラトリ
- 廃棄物処理棟

見学のおすすめポイント

施設見学は毎月実施しており、4月は施設見学の前後に研究所内を散策できます。(一般公開・桜公開)。また、10人までの小グループ見学のため、気軽に質問できます。

詳細・見学のお申し込みは



https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/pr/event_intro/e-sci-open



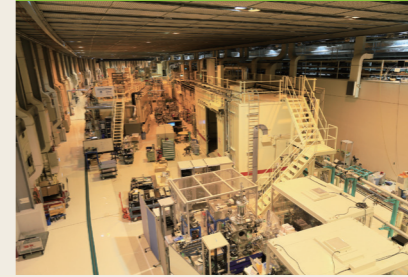
44

要申込

国立研究開発法人 理化学研究所 SPring-8(スプリングエイト)・ SACLA(サクラ)

〒679-5148
兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
JR新幹線/山陽本線「相生駅」よりバスで40分、車で25分

見学内容



大型放射光施設SPring-8とX線自由電子レーザー施設SACLAは、最先端科学の研究施設です。世界最高性能の放射光で、さまざまな物質の構造や性質を原子レベルで解明できます。未知の素粒子の探索や、化学反応中に原子・分子が超高速で動く様子の観測、小惑星探査機はやぶさ2の基礎研究から、作動中の電池の内部観察や住宅の新材料、低燃費タイヤの開発などの産業への応用に至るまで、国内外の幅広い分野の研究者に利用されています。見学では、施設内を歩きながら、世界最先端の研究の場を間近に見られます。

- 施設紹介ビデオ視聴
- SPring-8とSACLAの概要説明
- SPring-8とSACLAの見学

見学のおすすめポイント

技術者がガイドとして同行するので、実験装置や研究成果などの説明を聞きながら施設内部を見学できます。

詳細・見学のお申し込みは



http://rsc.riken.jp/site_tour/index.html



45

要申込

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター

〒708-0601
岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550
JR姫新線/津山線「津山駅」より車で約50分、またはJR山陰本線「倉吉駅」より車で約40分

見学内容



人形峠環境技術センターでは、核燃料サイクルにおいて上流側といわれるウランの採鉱から採鉱、製錬、転換、そしてウラン濃縮までの技術開発を実施し、現在ではこれらの研究開発に使用してきた施設・設備の廃止措置に取り組んでいます。また、1950年代後半に掘削されたウラン採鉱用の坑道(見学坑道)が現存しています。構内一巡および見学坑道については、冬季積雪期を除き、事前申し込み制により無料で見学可能。また、職場や地域などグループへ出向く「出前説明」や、学校教育の場での「出前授業」を原則無料で実施します。

- 大型核燃料施設の外觀
- 見学坑道
- 特別天然記念物オオサンショウウオ

見学のおすすめポイント

1950年代後半に建設された姿を今に残し、直接ウランを観察できるため文化的資源価値、学術的価値が高い「見学坑道」では、紫外線照射により美しい緑色の蛍光を発するウラン鉱床を確認できます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.jaec.go.jp/04/zningyo/profile1001.html>



46

中国電力株式会社 島根原子力館

〒690-0332
島根県松江市鹿島町佐陀本郷2955
JR山陰本線「松江駅」下車、タクシーで約30分

見学内容



1988年開館。出雲の社(やしろ)をイメージして建てられた当館は海拔150mの高さにあり、島根原子力発電所はもちろん、日本海や宍道湖などを一望でき、好天時には隠岐諸島や大山まで見渡せます。館内では、島根原子力発電所2号機の原子炉格納容器の一部を実物大に再現した模型や、島根3号機の模型を使って電気の源をたどるエネルギーシアター、島根原子力発電所での安全対策の実施状況を紹介する映像やジオラマなどのほか、ゲームやクイズなどを通して放射線やさまざまな発電の仕組みなどを、子どもから大人まで楽しく学ぶことができます。

- 発電のしくみコーナー(ゲームなど)
- エネルギーコーナー(クイズなど)
- 発電チャレンジコーナー(発電体験など)
- 放射線コーナー(放射線測定など)
- リッキーホール(映像上映など)

見学のおすすめポイント

当館一番人気の「発電のしくみコーナー」では、原子力発電の仕組みのほか、水力・火力・風力・太陽光の発電の仕組みについても体験しながら楽しく学ぶことができます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.energia.co.jp/atom/atom17.html>

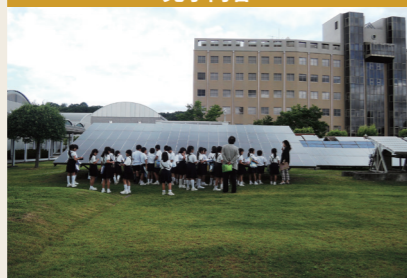


47

中国電力株式会社 エネルギー総合研究所

〒739-0046
広島県東広島市鏡山3丁目9番1号
JR山陽線「西条駅」下車、JRバス・呉・広・国際大学方面行き「水源地前」より徒歩5分

見学内容



当研究所は、3つのイノベーション領域「I. デジタル技術を活用した電力システムのイノベーション」「II. 脱炭素化に向けたエネルギー・環境技術のイノベーション」「III. 地域・他業種と融合した新サービスの創出」において、新たな価値創造を目指して研究・開発を展開。また、主に次世代層を対象に、研究施設の見学や取り組みの紹介を通じて、環境・エネルギー学習の支援を実施しています。なお、見学にあたっては事前申し込みが必要です。詳細は下記URLで。

- エネルギーマネジメントシステム
- 太陽光発電システム
- リユースバッテリーシステム
- 石炭灰から生まれるリサイクル資源

見学のおすすめポイント

電力会社ならではのエネルギー利用に関する技術や知見、石炭灰をリサイクルして資源化する技術など、脱炭素社会・循環型社会を実現し、地球環境を守るための取り組みが学べます。

詳細・見学のお申し込みは



<https://www.energia.co.jp/eneso/gaiyo/index.html>



48

四国電力株式会社 原子力保安研修所

〒790-0012
愛媛県松山市湊町6丁目1-2
伊予鉄道「松山市駅」より徒歩3分

見学内容



原子力発電所を安全第一で運用するため、日々の活動を通じて、技術や知識の継続的な向上を図るための教育訓練施設です。プラントの起動・停止操作から複雑な事故・故障対応操作までの訓練を行う「運転訓練シミュレータ」や、保修業務に必要な実技訓練のための原子炉容器上蓋など、実際の現場に即した機材を使って訓練を行っています。見学時には、ビデオ視聴を通して訓練内容を学べるほか、運転訓練シミュレータ室や保修訓練室なども見学可能。見学には事前の申し込みが必要となります。詳細は下記URLで。

- 運転訓練シミュレータ
- 原子炉容器上蓋(1/2サイズ模型)
- 使用済燃料ピット(1/4サイズ模型)

見学のおすすめポイント

原子力発電の安全を守る現場が見られる貴重な施設。ヒューマンエラーを防ぐための徹底的な対策や運転員の訓練状況、不測の事態にどう備えているのかなど理解を深めることができます。

詳細・見学のお申し込みは



https://www.yonden.co.jp/energy/atom/tour/nuclear_safety_institute.html



49

四国電力株式会社 伊方ビジターズハウス

〒796-0421
愛媛県西宇和郡伊方町九町字コチワキ3-204
JR予讃線「八幡浜駅」下車、路線バス・三崎方面行き「伊方ビジターズハウス」より徒歩1分

見学内容



四国唯一の原子力発電所・伊方発電所のPR館です。原子力発電の仕組みや安全性の解説に加え、エネルギー全般にわたる展示も充実。200インチ大型スクリーンを備えたシアターホールの3D映像や館内の模型で、「中央制御室」や「原子炉格納容器」など発電所内部の設備をバーチャル体験できます。このほか、エネルギーと地球環境をテーマとした多彩な映像やゲームで楽しく学べるコーナーも。また、クイズラリーやミニイベントを定期的に開催するなど、原子力発電への理解を深める「ふれあい・交流の場」としても親しまれています。

- 原子炉格納容器(1/6の模型など)
- タービン・発電機(映像、模型)
- 使用済燃料プール(映像、模型)
- アースギャラリー(地球環境)
- 発電トライアル(電気をつくる)

見学のおすすめポイント

シアターホールの3D映像は迫力満点。また、瀬戸内海と宇和海を一望できる展望室もお勧めです。笑顔いっぱいのスタッフが来場者を歓迎。伊方町の観光物産センター「道の駅伊方きらら館」も隣接。

詳細・見学のお申し込みは



https://www.yonden.co.jp/energy/atom/tour/ikata_visitorshouse.html



50

九州電力株式会社 玄海エネルギーパーク

〒847-1441
佐賀県松浦郡玄海町今村字浅湖4112-1
JR唐津線/筑肥線「唐津駅」下車、昭和バス・玄海原子力発電所行き「玄海エネルギーパーク」下車

見学内容



2000年開館。美しい海と豊かな自然環境に囲まれた玄海原子力発電所の敷地内に広がる玄海エネルギーパークは、人と自然と原子力を中心にさまざまなエネルギーと触れ合えるテーマパークです。科学とエネルギーをテーマにした「サイエンス館」には、原子炉の働きや原子力発電の仕組みをCGを駆使して紹介する「原子力シアター」や、原子力に関するクイズに答えながら挑戦する「原子力ゲーム」があります。また、九州各県の伝統工芸品や民俗芸能を紹介する「九州ふるさと館」や、玄海原子力発電所の排熱を利用した「観賞用温室」も楽しめます。

- サイエンス館(原子力の仕組みなど)
- 九州ふるさと館(ふれあいギャラリーなど)
- 観賞用温室(植物観賞など)
- ツバキ園(約100種類800本を植栽)
- 太陽の広場(ジャブジャブ池など)

見学のおすすめポイント

実物大原子炉模型や大迫力の原子炉シアターで学んだ後は、原子力クイズや人力発電ゲームに挑戦! また、約200種類の植物を観賞したり、アスレチック広場で遊ぶこともできます。

詳細・見学のお申し込みは



http://www.kyuden.co.jp/life_pavilion_enepark_index.html

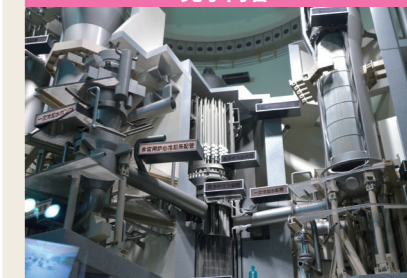


51

九州電力株式会社 川内原子力発電所展示館

〒895-0132
鹿児島県薩摩川内市久見崎町字小平1758-1
JR鹿児島本線/肥薩おれんじ鉄道「川内駅」下車、コミュニティバス・高江・土川線「展示館前」下車

見学内容



1980年開館。海に向かって建つ川内原子力発電所は、玄海原子力発電所に次ぐ九州で2番目の原子力発電所です。発電所の手前、左手にそびえる建物が展示館で、みやま池のそばにあります。ゆったりとしたアプローチを歩いていくと、アーチ型の展示館にたどり着きます。展示館内は地階から2階までの3フロア。1階にある「実物大原子炉模型」は高さ12m×幅4.5mと大きく、原子炉を守る5重の壁の厚さを実感することができます。2階は展望室にもなっているので、海や発電所はもちろん、太陽光発電による循環装置が掛けられたみやま池を一望することも。

- 実物大原子炉模型(高さ12m×幅4.5m)
- 十五夜大綱引き(直径35cmの綱を展示)
- 集会室(発電所紹介ビデオの上映など)
- 展望室(窓の外の発電所と模型を見比べる)

見学のおすすめポイント

海に向かって建っている大きな2つの原子力発電所。発電所の中がどうなっているのか、実物大原子炉模型や発電所の全体模型で学べます。また、原子力クイズや人力発電綱引きゲームにもチャレンジできます。

詳細・見学のお申し込みは



http://www.kyuden.co.jp/life_pavilion_sendai_index.html